

取組実績については、以下のとおり

i)住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
戸別訪問の実施件数	30	5	35	56	3	50
地域組織を通じた耐震改修実施に係る働きかけの回数	0	1	1	1	1	1

ii)耐震診断実施者に対する耐震化促進
資料編のとおり

iii)改修事業者の技術力向上

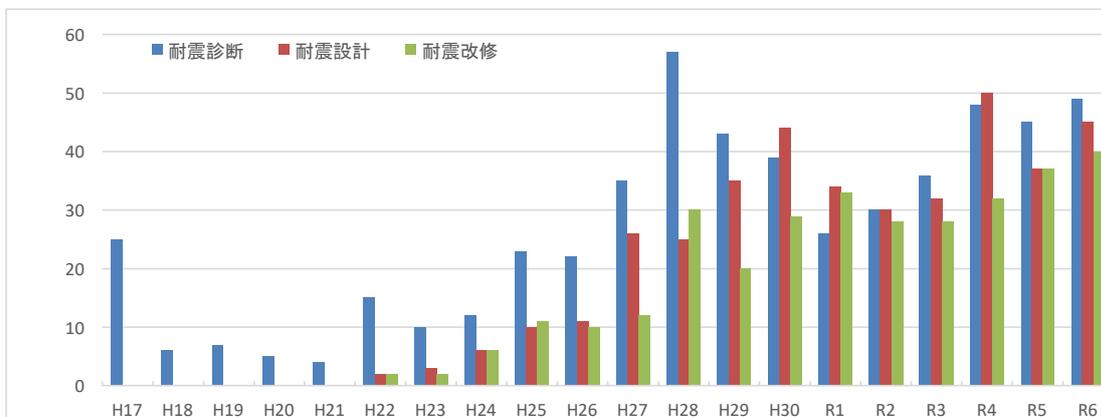
	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
耐震診断士講習会	2	2	4	3	3	4
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	2 (オンライン)	9月~2月 (オンライン)	—	2(対面)、9月~2 月(オンライン)	2(対面)、11月~2 月(オンライン)	2(対面)、9月~2 月(オンライン)
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	—	1	2	1	2	2
耐震改修技術学校	—	—	—	1	2	2
耐震補強工事実務講習会	—	—	—	—	—	—

iv)一般への周知普及

	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
広報誌等への掲載	4月、5 月、10月	4月 10月	4月 10月	4月、8 月、9月	4月	4月
イベントでのブース展示	—	12月	12月	12月	12月	12月
庁舎内パネル展示	9月	—	9月	9月	9月	9月

○耐震改修の実績

(棟数)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (予定)
耐震診断	30	36	48	45	49	
耐震設計	30	32	50	37	45	
耐震改修	28	28	32	37	40	50



○前年度の取組内容

令和6年度については、避難路沿いを中心に個別訪問、不在時は啓発資料のポスティングにより耐震改修実施に係る働きかけを行った。また、土佐清水市主催の産業祭にて、防災ブース(起震車、パネル、模型展示)を活用し耐震改修について周知を実施。

○見えてきた課題

耐震制度等の周知や、能登半島地震を受けて住民の危機感が増幅し申請の数が増えたことにより、一定の成果を得ることができているが、依然として浸水域内の方などに耐震の意味がないなど前向きではない方がいる。

○今年度の取組内容

土佐清水市主催の産業祭等の防災ブース(起震車、パネル、模型の展示)にて、耐震改修などの補助のPRを行う。避難路やその地区に応じて戸別訪問を行う。

